

リモートコンソラーの使用方法

リモートコンソラーは、無線 LAN を使用してフィールド競技の記録入力を実施するが電波状態が悪く通信があまり上手くいかない場合に、通信が切れても記録の入力を継続することができるものです。リモートコンソラーを使用するためには、サーバーにリモートコンソラーホストが導入され、起動している必要があります。

サーバーにリモートコンソラーホストを導入する

すでに競技場によってはリモートコンソラーホストが導入されている競技場もあります。サーバーに user id ユーザーでサインインしてデスクトップ画面に「リモートコンソラーホスト」アイコンが存在するかどうか確認してください。存在する場合は改めて導入する必要はありません。

サーバーのデスクトップ画面にアイコンが存在しない場合は、まずリモートコンソラーホストを導入する必要があります。

1. 弊社ホームページ「サポート／ダウンロード」の「Athle32 最新版システムダウンロード」からサーバーの OS に合ったリモートコンソラーホストの最新版をダウンロードしてください。

2. ダウンロードしたファイルをサーバーのデスクトップにコピーし、ダブルクリックして実行します。
(解凍先・展開先はそのまま解凍を実行してください)
サーバーの OS によって導入される先が異なります。

3. 解凍が終了すると解凍画面が消えます。正しく導入されたかどうかエクスプローラーで以下の場所にファイルが存在するかどうか確認します。

Server2008/2008R2/2012/2012R2 の場合・・・C:¥Athle32¥RFHOST

Server2000/2003 の場合・・・・・・・・・・C:¥\$\$\$¥RFHOST

4. RFHOST フォルダのなかにある「RFHOST.exe」を右クリックし、「送る」－「デスクトップ（ショートカットを作成）」の順にクリックして RFHOST のショートカットをデスクトップに作成します。

5. ウィンドウを閉じてデスクトップ画面に戻り、さきほど作成した「RFHOST.exe - ショートカット」を右クリックし「名前の変更」を選択。名前を「リモートコンソラーホスト」に変更します。

6. 作成したショートカットをスタートアップに登録します。スタートアップに登録すると、サーバーを起動した際に自動的にリモートコンソラーがいつも実行されるようになります。

<Server2008/2008R2/2012/2012R2 の場合>

①キーボードから Windows キーと「R」キーを同時に押します。すると「ファイル名を指定して実行ウインドウ」が起動します。

②「shell:startup」と入力して【OK】をクリックします。

③開いたウインドウにさきほど作成したデスクトップの「リモートコンソラーホスト」ショートカットをコピーして入れれば完了です。

<Server2000/2003 の場合>

①【スタート】ボタンから【すべてのプログラム】－【スタートアップ】を右クリックし、「開く」をクリックします。

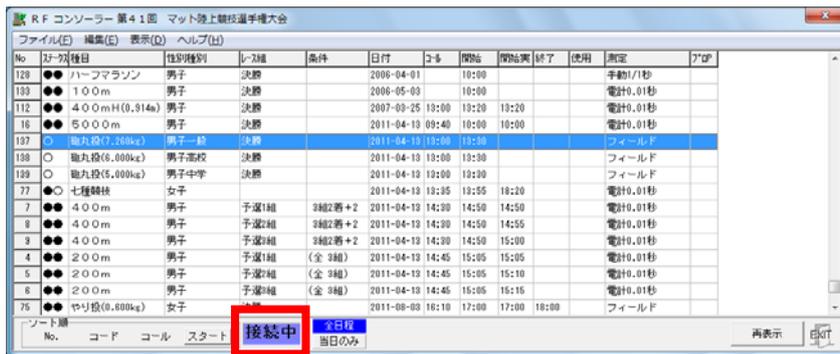
②開いたウインドウにさきほど作成したデスクトップの「リモートコンソラーホスト」ショートカットをコピーして入れれば完了です。

リモートコンソラーを利用する

1. サーバーにサインインしてリモートコンソラーホストを起動します。
2. リモートコンソラーを使う予定のコンピューターをLANに接続し、サーバーのデータが参照できる状態にします。有線LANで接続するか、無線LANの場合は一度電波状態の良いところで接続をします。
3. マスターコピーを実施します。
4. 一旦終了し、使用する場所（現地）で再度コンピューターを起動しLANに接続します。
5. メインメニューの【記録エントリー】から【8. リモートコンソラー（フィールド入力）】を起動します。



6. RFコンソラー画面が開きます。通常のコンソラー画面と操作は同じです。



ここにLANが接続状態であれば「接続中」、切れている状態であれば「切断中」と表示されます。

7. これから記録入力を実施するレースを選択します。詳細画面を開きます。



この画面でもLANが接続状態であれば「接続中」、切れている状態であれば「切断中」と表示されます。記録入力は通常のコンソラーと同じ方法で実施します。パスワードを入力して記録入力を実施してください。

<どうしても電波状態が悪く現地でレースを開くことができない場合>

あらかじめ電波の良いところ、もしくは記録センターにて有線LANで接続し、入力を実施するレースを一度開いてください。開くことによりそのレースのファイルを端末コンピューターにコピーします。これで電波状態の悪い現地で起動してもそのレースを開くことが可能となります。

8. 途中でLANが切れると、「接続中」の文字が「切断中」になります。「切断中」となっても記録入力は継続できます（光波等からの記録の取込やフィールド電光表示盤（マグサイン）への表示も継続できます）。



電波状態が良くなると「切断中」だった文字が「接続中」に変わり、ここまでのデータがサーバーに送られます。LANの状態が回復しているにもかかわらずなかなか「接続中」にならない場合は、「切断中」と表示されている箇所を右クリックし「接続実行」をクリックすればすぐに接続中になりデータが送信されます。

9. 入力が全て完了しコンソラー画面に戻ると画面中央に「データ受信中」という文字がしばらく表示されます。この間はサーバーからコンソラーの情報を受信していますので操作はしないでください。受信が終了するとこの表示は消えます。



リモートコンソラーのしくみ

リモートコンソラーは始めにデータをローカル（自PC）にコピーして、コピーしたデータを使って記録入力を行います。入力されたデータはローカルに保存されます。保存されたデータを定期的にサーバーと同期してサーバーのデータを更新しています。もし、記録入力途中で電波が悪くなってLANが繋がらなくなっても、記録入力終了後記録センターにて有線LANをつないでLANの状態が回復されれば記録をサーバーに入れることができます。

記録入力操作については通常コンソラーと同じです。